

# ぴぴっと

創刊号

平成12年7月31日  
発行  
ぴぴっと(PPT)研究会

## はじめまして

### ぴぴっと(PPT)研究会の誕生

ふだん、私たちの生活の中には、様々な情報が入ってきます。それは、テレビやラジオであったり、新聞・雑誌、また最近ではコンピューターの普及によりインターネットからも多くの情報を得ることができます。その中で毎日目にする新聞はその最たるものですが、この新聞を教育的に活用していこうというのが、新聞教育の活動です。

私たちは、この「新聞教育」という分野を中心に、それを研究・実践しながら、その普及を図っていこうとする会です。

「新聞教育」は、新聞を読むことや、自分たちでスクラップをしたり、新聞を作ってみたりすることから、社会的・科学的・芸術的・国際的等々、あらゆる要素を含む教育であるということが言えると思います。

私たちは、この様に総合的とも言える「新聞教育」を活用・普及していくことを通して、子供たちのみならず、大人にとっても、また私たち自身にとっても、豊かな人間性を育てて行く一助になれば良いと考えています。

産声を上げたばかりの『ぴぴっと』ですが、この北上の地にあって、まずは地域に根ざした活動をして行きたいと思えます。

## ただ今、勉強中

会長 小笠原味佐枝

新聞教育に出合って30数年、明るく、元気でやる気満々な子供たちと一緒に新聞づくりに挑戦、充実した日々を過ごすことができました。

また、素晴らしい父母と教師の会の方々との出会いも重なり学校・学級新聞づくり、PTA会報づくり、NIE、記念誌の発行等々と活動と理論に幅と展望を与えていただきました。

今年3月、教職を定年退職、教職時代に発掘したシンクタンクに依拠し、さっそく新聞の理論や実践を深め広めるために「ぴぴっと研究会」なるものをつくりました。

ただ今、猛勉強中です。みなさまのご指導、ご支援をよろしく願います。

## ぴぴっと(PPT)ってなあに？

PPTのPは Papyrus (パピルス)  
パピルス・紙草・パピルスに書いた写本・古文書

Paper (ペーパー)  
紙・新聞・研究論文・書類

PPTのPは Practice (プラクティス)  
実施・実行・練習・実際  
Philanthropy (フィランソロピー)  
社会貢献・ボランティア

PPTのIは Theory (セオリー)  
倫理・意見・学説

上のPPTを受けて  
ぴぴっとは ひらめき  
行動  
かわいい響き  
を加味しています



NIE全国大会に参加して

七月二十七日、二十八日に横浜市で開催された「第五回NIE全国大会」に、私たち『びびつ』から、会長以下三名が参加してきました。

一日目は、脚本家として有名な山田太一氏を講師に迎え、「仕事を通して見た現代」と題して記念講演が行われました。有名人の子という恵まれた環境に育ちながらも、障害児を出産し育てる中で、人間の宿命を徐々に自覚していった女性の話を例にして、人間にはどうしても越えられない問題があるが、それをマイナスイメージとして諦めるのではなく、その中にもプラスを見つけていける社会にしていかなければならないというお話でした。

二日目に参加した「家庭・地域・学校とNIE」の分科会では、小・中・高の先生方からNIEの実践報告がありました。新潟のある小学校では、親が教師と一緒に子供の学習を支援する「学習参加」に取り組みつつ、開かれた授業を目指し、その中で新聞作り活動を通

も参加するNIEの授業の報告がありました。また、神奈川県の高校では、新聞作りを通して地域の問題について考え、高校生自らも地域に向かって提言していくという実践例の紹介がありました。

分科会の最後に、我が『びびつ』のメンバーが、PTA広報づくりに関わった者という立場から発言しました。「児童・生徒と教師間のNIEということだけではなく、PTA広報を活用することで、学校でのNIE活動をよりスムーズにバックアップしていけるのではないかと。また、PTA広報を通して、家庭や地域へのNIEの浸透をはかっていけるのではないかと」という提案をしたところ、予想以上の反響がありました。

中でも、韓国でNIEの中心になつて活動されている小学校教師の方と話をする機会を与えられたことは、私たちにとても大きな収穫でした。韓国では、新聞教育に対する母親の関心が強く、母親たちの中にNIEが広く、深く浸透しているというのを聞き、私たち『びびつ』の舌が今後

NIEとは

NewsPaper in Educationの略称。

新聞を教育の場で活用しようという運動。1930年代に米国で始まり、日本では89年に活動を開始、ここ数年、活動が飛躍的に伸びた。複数の新聞が教材として無料提供される「実践校」に99年度には、47都道府県の小・中・高校324校が指定された。2000年度には小・中・高校の1%に当たる343校が指定された。

岩手県の活動

岩手県のNIE運動は平成7年8月、県内に支社局を持つ新聞・通信社8社と県教委など教育関係機関、団体で組織する岩手県NIE協議会が結成され、本格化した。県内の

しんぶんまめちしき

明治新政府が、西洋の進んだ技術をいろいろ取り入れたが、新しい通信方法に庶民はとまどった。

○『郵便函』を『垂れ便函』と読み、ポストの中に小便をする者がいた。

○電信は、キリシタンの魔法だと言って電線を切るものがいた。

○電信で品物が送れると勘違いして、風呂敷包みを電線に縛りつけ、いつまでたっ

- 編集後記 -

会報「びびつ」創刊号をお届けします。慣れないパソコンでの作成にとまどいながらも楽しく作業を進めることができました。ご一読の上、ご意見をお寄せ頂ければ幸いです。次はホームページに挑戦です。

